

(10) 米国 USA

基礎データ (2018年)

人口：3億2,823万人
 名目GDP：21兆4,280億米ドル
 1人当たり名目GDP：65,223ドル
 実質GDP成長率：2.3%（2019年）

日本との関係

日系企業数：8,929社（2018年）
 在留邦人数：44万6,925人
 （2018年）
 日本食レストラン数：25,257店舗
 （2019年）

1 市場の特性と消費の傾向

日本産米の競合は、カリフォルニア州で生産される短粒米

A 市場の特性

米国での精米の生産量は約1000万トンです（2018年）。生産量、消費量ともに多少の増減を繰り返していますが、大きな流れとしては増加傾向にあります。コメの種類別の消費量は、長粒米が全体の約7割強、中粒米と短粒米で約3割程度と考えられます。日本産米と競合する短粒米は、2018年に米国では約13万トン生産されていますが、その98%はカリフォルニア州で生産されています。輸出先の第1位は6割程度を占めるタイで、次にインド、中国と続きます。日本から米国への商業用のコメ輸出量は、2018年は約1,300トンでした。これは日本からのコメの輸出先国の中では、香港・シンガポールに次いで第3位となります。

	2016	2017	2018
生産量（千トン）	10,167	8,084	10,170
消費量（千トン）	5,329	5,109	-
輸出量（千トン）	1,848	1,935	3,194
輸入量（千トン）	753	767	895

	2017	2018	2019
輸出量（トン）	986	1,282	1,980
輸出単価（円/kg）	325	315	274

	2017	2018	2019
輸出量（トン）	1,067	1,112	1,100
輸出額（百万円）	1,062	1,134	1,122

B 消費の傾向

JETROの調査では、米国では白人の27%、アフリカ系の59%、中南米系の47%、アジア系の71%がコメを食べるという報告があります。しかし、食べる頻度では、ジャポニカ米・インディカ米を合わせて、米国人全体で平均すると味付けされていないコメを食べるのは月に1.5回、味付けされたコメは2か月に1回です。米国全体で見れば、日常的にコメが食べられているわけではなく、日本食レストランで日本産米を使用しているのは一部の高級レストランなどに限られており、それ以外では大半がカリフォルニア産米を使用しています。

コメの主な輸入先国

タイ、インド、中国、ブラジル等

(10) 米国 USA

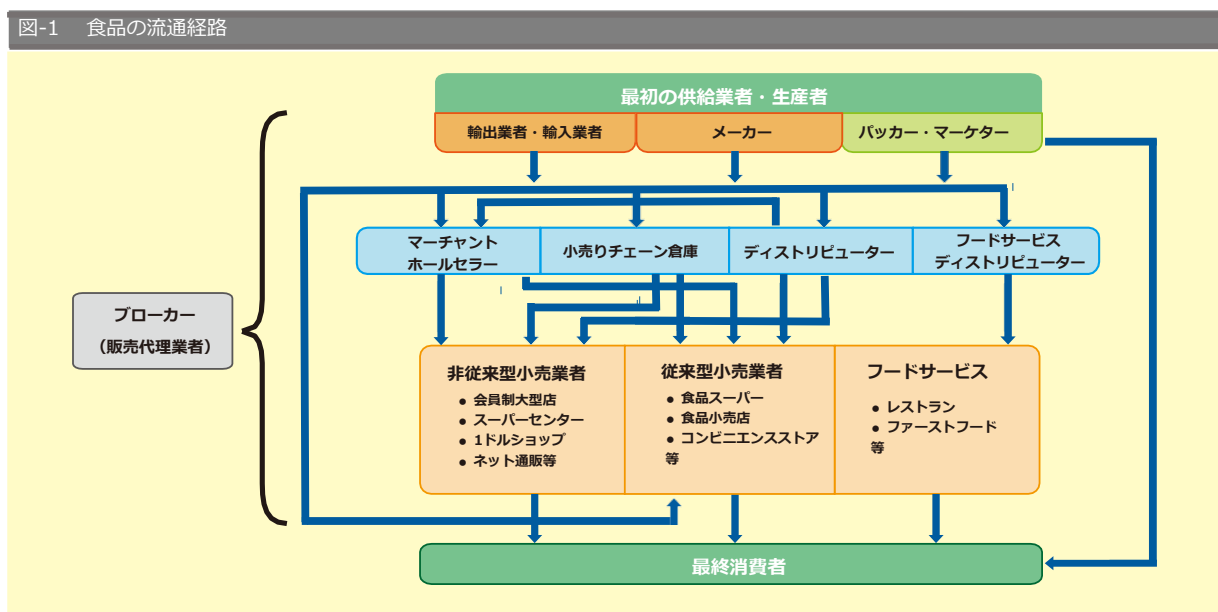
2 流通チャネルと取引慣行

日本から米国の店頭へ並ぶまで 2 か月半

A 日本米の流通経路

アメリカの食品流通システムは非常に複雑であり、食品が消費者のもとに届くまでにはいくつかの流通ルートが存在しています。

図-1 食品の流通経路



(出典) 農林水産省「平成 19 年度農林水産物貿易円滑化推進事業 一米国編一」より

B 取引慣行

日本産米が日本の生産者/卸売業者から輸出され、米国（ニューヨーク）の小売店舗に並ぶまでに最短でも 2 か月半かかります。東西海岸では、日系卸により流通網が整備されており、日本食マーケット（日系小売店や日本食レストラン）への物流上の大きな障壁はないと言えます。

3 関税割当枠と関税

コメ及びコメ関連製品は日米貿易協定の対象外

関税割当枠

米国において輸入数量制限品目に該当する品目はありません。
また、コメ、包装米飯、米菓のいずれも関税割当品目には含まれていません。

関税

玄米 (HS コード : 1006.20.40) : 0.021 米ドル/kg
 精米 (HS コード : 1006.30.90) : 0.014 米ドル/kg
 包装米飯 (HS コード : 1904.90.01) : 14%
 米菓 (HS コード : 1905.90.90) : 4.5%

なお、2020 年 1 月 1 日に発効した日米貿易協定において、コメ・包装米飯・米菓は関税削減・撤廃の対象ではありません。

(10) 米国 USA

4 検疫制度と食品規制

輸入許可、植物検疫証明書は不要

A 検疫制度

精米・玄米ともに日本での輸出検査は不要であり、米国農務省（USDA）の輸入許可証も不要です。包装米飯を輸出するためには、米国食品医薬品局（FDA）に製造工場が登録されている必要があります。

B 食品規制

製品表示の内容

- ① 主要表示パネル（包装の正面中央）記載事項
 - a. 食品の名称
 - b. 正味内容量
 - ② 情報パネル（裏面や側面）記載事項
 - c. 製造者、輸入業者、又は梱包業者のいずれかの名称と住所
 - d. 原材料リスト
 - e. アレルゲン（※）
 - f. 栄養表示（未加工のコメは表示義務なし）
総エネルギー量、総脂質・飽和脂肪酸・トランス脂肪酸、コレステロール、ナトリウム、炭水化物、食物繊維、糖類と添加糖類、タンパク質、ビタミンD、カルシウム、鉄分、カリウム
 - g. 原産国名
- ※ 乳、卵、魚類、甲殻類（カニ、ロブスター、エビ等）、ナッツ（アーモンド、クルミ、ピーカン等）、ピーナッツ、小麦、大豆

残留農薬基準

環境保護庁（EPA）が食品の残留農薬の許容量（又は最大残留基準）を設定しています（ポジティブリスト制）。残留農薬許容量は、各物質について食品ごとに規定されています。

原発関連輸入規制

福島県産米は、輸入停止措置の対象となっておりません。

5 小売店の店頭価格

日本産米は米国産の3倍の価格

A コメの販売価格

日本産米は主に日系スーパーで販売されています。あきたこまち等のジャポニカ米が米国産で販売されていますが、日本産米と比較し1kgあたりの価格は1/3程度と、非常に安価です。長粒米も含めると米国産以外にはタイ産が扱われています。

表-4 コメの販売価格（調査月：2019年4月）

商品名	原産国（産地）	販売単位	価格 (米ドル)	円換算*
Kano Rice、Niigata Uonuma Koshihikari	日本 新潟県	2kg	30.99	3,468
ゆめぴりか	日本・北海道	5kg	47.69	5,337
つや姫	日本・山形県	5kg	49.99	5,594
ミルキークイーン（有機）	日本・茨城県	2kg	31.99	3,580
彩錦	日本	5kg	34.99	3,915
錦	米国	6.81kg	20.75	2,322
365 Organic Long Grain White Rice	米国	2lbs	3.99	447
Nishiki Premium Rice	米国	10lbs	15.99	1,789
玉錦	米国	2kg	9.29	1,040
秋田こまち	米国	6.81kg	29.99	3,356
かがやき	米国	6.81kg	31.45	3,519
田牧ゴールド	米国	6.81kg	43.59	4,878
99 Jasmine Rice	タイ	25lb	23.4	2,619

(10) 米国 USA

B 包装米飯の販売価格

包装米飯では、日本産以外に米国・台湾・韓国・英国・タイ産などの製品が販売されています。日本産米が取り扱われているのはアップミドル向けの日系スーパーのみとなっています。日系スーパーでは、日本産米のほか米国産・台湾産も扱われており、日本産米より安価で販売されています。台湾産は、米国産と比較しても安価です。

表-5 包装米飯の販売価格 (調査月: 2019年4月)

商品名	原産国(産地)	販売単位	価格 (米ドル)	円換算*
Table Mark 魚沼産コシヒカリプレミアム(3パック)	日本	600g	9.99	1,111
Annie Chuns, Rice Express Sticky White Rice	米国	7.4oz	3.29	366
Nishiki Brown Rice	米国	7.4oz	1.58	176
Nishiki Steamed Rice	米国	7.4oz	2.19	244
Organice White Rice "Organics"	米国	7.4oz	1.79	199
CJ Foods white rice	韓国	210g	2.79	310
Veetee Long Grain White	英国	300g	2.29	255
Shirakiku, Cooked Rice (3pack)	台湾	21.0oz	5.59	622
Lundberg Organic Red Jasmine	タイ	227g	3.39	377

C 米菓の販売価格

サンフランシスコ・ニューヨークでは、現地系スーパーでも日本産の米菓が取り扱われています。日本産米菓は他国産と比較すると少し高めですが、精米の価格ほど他国産との価格差はありません。日本産以外では、米国産、台湾産、タイ産、中国産の販売が確認されています。

表-6 米菓の販売価格 (調査月: 2019年4月)

商品名	原産国(産地)	販売単位	価格 (米ドル)	円換算*
金吾堂 昔ながらのお煎餅	日本	110g	3.49	390
Amanoya Kabukiage	日本	5.1oz	3.98	445
Kameda Soft Salad	日本	5.68oz	2.79	312
Hello Kitty Senbei Rice Cracker	台湾	3.95oz	2.69	301
Mizuho Service Cracker	中国	85g	1.79	200
Norimaki Mate Arare	タイ	16oz	6.98	781
Kameda Kakinotane	タイ、米国	5.3oz (6pack)	3.49	391
Shop Rite Rice Cakes	米国	170g	2.19	245
365 Sesami Rice Crackers	米国	3.57oz	2.19	245

*2019年4月為替レート: 1米ドル=111.91円

6 インターネット販売の実態

成長を続ける E コマース市場

米国の E コマース (EC) 市場は成長を続けており、2019 年には小売売上高の 10% を初めて超えると予想されています。2019 年、米国人は EC に 5,869 億 2,000 万ドルを費やしたとみられており、これは 2018 年と比較して 14.0% の増加であり米国の小売支出全体の 10.7% に相当します。

米国 EC 市場において Amazon が存在感を増しており、国内 EC 市場全体に占めるシェアは 2013 年の 26% から 2016 年に 43% へ拡大しました。日本企業では、楽天 EC カンパニーが「楽天グローバルマーケット」を海外対応の EC サイトとして展開しており、米国における販売実績を伸ばしています。

EC サイトでは、日本産米の品揃えが豊富なものに対して、包装米飯と米菓の取扱い品数は少ない状況です。日本産米は、ebay や楽天で取り扱われています。Amazon では日本産米菓の取扱はありますが、日本産米の取扱は確認できませんでした。インターネット販売の価格は実店舗での販売価格よりも高めの設定となっています。

主要 EC サイト

- a. amazon.com (日本産米菓の取扱有) — <http://www.amazon.com/>
- b. ebay.com (日本産米、米菓の取扱有) — <http://www.ebay.com/>
- c. Walmart.com — <http://www.walmart.com>
- d. Rakuten Global Market (日本産米の取扱有) — <https://global.rakuten.com/en/>

7 輸出拡大に向けて

日本産米の輸入拡大の決め手となるのは、味と品質です。在留邦人以外は家庭でコメを炊飯することはほとんどないと考えられるため、外食・中食向けをターゲットの中心に据える必要があります。そのため、業務用のニーズに合った商品の提供や外食・中食業者と連携した PR・キャンペーン等を進めていくことが必要だと考えられます。包装米飯と米菓は、米国の規制への対応をしっかりと行うことで輸出拡大の可能性のある商品アイテムと言えます。日本の企業が現地法人を設置し、EC サイトを運営する事例も出てきています。